

河内地区
まちづくり
情報紙

かわち

第72号

編集/発行
河内地区まちづくり協議会
〒329-1105
宇都宮市中岡本町3221-4
028-671-3202



まちづくり協議会から

発信



かわちらしさづくり実践プラン「自然と人を大切に絆で結ぶ楽しいかわち」を目指して

・計画推進経過報告

- 河内地区では、平成28年3月かわちの将来像「自然と人を大切に絆で結ぶ楽しいかわち」を目標とする、河内地区地域ビジョン10年計画を策定致しました。
- その計画目標を推進するため、平成28年度を初年度として、まちづくり協議会構成団体や51自治会のご協力とご理解をいただき、宇都宮市等の行政機関のご指導を賜りながら、前期計画実践プラン5ヶ年計画（平成28年度～令和2年度）の下、目標を「かわちらしさ」づくりと定め、各種事業に取り組んでまいりました。

前期計画実践プランの成果

事業名	成果
① かわち桜づつみの花見会	・河内の豊かな自然環境に誇りを抱き、心の癒しが提供できた。
② サギソウ展示とさぎそう朝市	・河内のシンボルフラワー、絶滅危惧種「サギソウ」をとおして、自然の大切さを学び「さきちゃん・そうくん」のイメージキャラクターがイベント開催で活躍、またサギソウや旧河内町章から考案した「会旗」を作成することができた。
③ かわちハートフル体育祭	・旧河内の「スポーツのまち」を継承して、三世代が一堂に会し、参加型のスポーツ種目をとおして、交流の輪が広がった。
④ かわちふるさとまつり	・まち協・商工会・JA・福祉協議会・文化協会がそれぞれの団体の特徴や活動方針を発揮してイベントを開催「かわちらしさ」づくりの切っ掛けとして多くの地域住民にまちづくりの大切さを知っていただく活動ができた。
⑤ いきいき河内発見講座	・生涯学習センターと連携し、歴史・伝統文化・文化財など河内の地域資源（財産）を学び、河内の良さを再発見する機会づくりとなった。
⑥ さぎそう河内号の運営	・利用者の増加傾向をいち早く把握し、増便体制などのサービス向上に努めた結果、市内一位の利用者を数え、快適で安全に移動できる運営体制が整った。



⑦ 各部会の活性化	・部会構成団体の研修会や部会間の研修会などをとおして、連携と活動の充実が図られた。また後期計画の基本となる行動「笑顔・挨拶・楽しい」を先取りする「笑顔・楽しい」の二つのプロジェクトが誕生した。
⑧ 連合自治会との連携	・支援金を始め、すべての事業にご尽力をいただき、まちづくり協議会の潤滑油的協力をいただきながら各種事業を推進することができた。
⑨ まち協構成団体の事業計画と実践プランの実行	・構成団体の活動指針を自ら認識し、地域ビジョンにおける役割を把握して、まちづくりへの更なる活動体制が構築された。

「かわち」のことはかわち住民が考え行動することが「かわちらしさ」づくりへの原点であることをより一層認識しました。一方、各種事業運営に必要な人員数・物品・資金を考慮したとき、行政及び地域事業所との連携と支援なくしては事業展開が出来ないことを改めて感じました。折り返しの今年度は後期計画の策定に入りました。今日まで培った各種事業をとおした成果や課題を加味して、後期計画実践プラン5ヶ年計画（令和3年度～令和7年度）を現在策定中です。

その策定の考え方は今日、新型コロナウイルスにより、日本はもとより世界中のあらゆる活動が停滞し、経済推進策と感染防止策の相反する施策を同時に行う、先の見えない社会状況下です。

そのような不安な社会状況下だからこそ、後期計画の理念を人と人が支えあいながら礼節を重んじ「笑顔で挨拶、楽しい」まちづくりとしています。

オール河内・老若男女が一体となって計画推進に参加できる親しみやすい計画にしたいので、地域住民の皆様方の計画策定等についてご意見やご提言をお待ちしています。

おかげさまで、6周年

地域の皆さまに愛され、支えられて、 「さぎそう河内号」は今日も走ってます!!

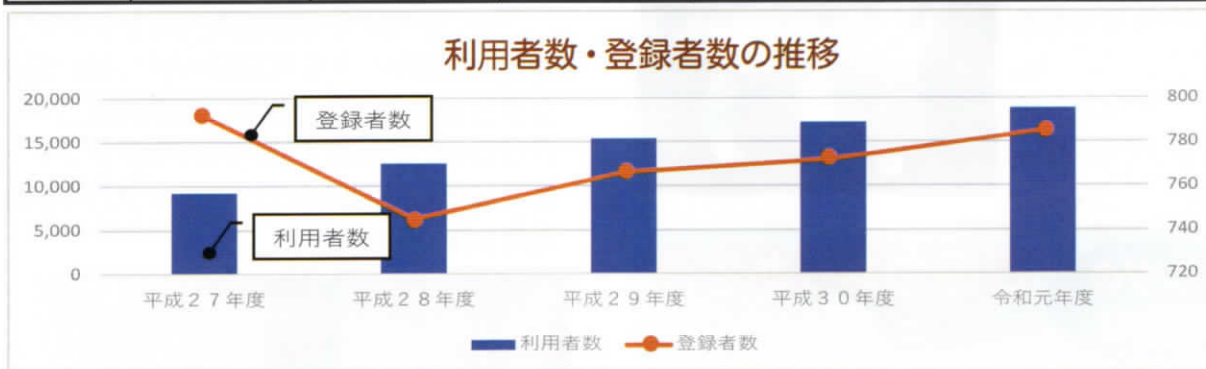


河内地区地域内交通運営協議会

日頃から「さぎそう河内号」をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。また、地域の多くの皆さまに支えられて、おかげさまで6周年を迎えることができました。コロナ禍の中減少した利用者も徐々に回復しています。安全安心そして愛される「さぎそう河内号」を目指して努力してまいりますので今後ともご支援よろしくお願いたします。

●平成27年度～令和元年度《さぎそう河内号》利用者数・登録者数の推移●

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	計
利用者数	9,176	12,551	15,362	17,194	18,805	73,088
登録者数	792	745	766	772	785	—



「さぎそう河内号」運行業者 アサヒタクシーさんから ご利用の皆様へ

日頃から、「さぎそう河内号」をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。また、当業務に携わることができて大変感謝申し上げます。「さぎそう河内号」は市内の地域内交通の中で最も利用者数も多く、利用者マナーの高い地域と感じています。私たちは、このような地域で運行できることを誇りに思っております。今後とも安心安全で快適にご利用いただけるよう、緊張感をもって業務に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

運転者さんからコメントをいただきました(以下の項目)

- 1. さぎそう河内号業務への考え方について
- 2. 利用者など感想について
- 3. 利用者への要請について

1号車 運転手

- 円滑な運行(送り迎え)が最も大切だと思っています。また、業務的な対応のみではなく「近づき過ぎず、離れ過ぎず」の接客が大切だと思います。
- 初めてのご利用は、不安一杯ですので利用方法を丁寧に説明しております。また、「つえ」「押し車」での利用も多く、また動きもゆっくりなので乗降時には特に配慮しております。
- 利用方法の理解不足や、不慣れから我がままをおっしゃるお客さまもおられますので、さらに利用方法の周知をしてほしい。

2号車 運転手

- 安全で便利をモットーに、お客様一人一人の立場で、1日100件の予約を達成するべく日々努力しています。
- お忘れ物が多い方おりますので、細心の注意を払って対応しております。(忙しい時には、戻ることが難しいので)
- お迎え時間に余裕をもってほしいです。(予約時間は、その日その日で前後する事がありますのでご理解下さい。)
・スーパーなどでお迎え場所を再確認して頂きたいと思っております。

3号車 運転手

- お客さまの身近な足として、健康維持や楽しい生活を送るためのお手伝いができるよう努力しています。
- 利用上のルールをお守りいただいているお客さまが多く、スムーズな運営ができていことに、感謝しています。
- お出かけ前にはお時間の確認や、持ち物のお忘れがないよう準備をよろしくお願いたします。

※ドライバー・無線室一同・みなさまに気軽に気持ち良く、更に近くても遠くても何度でもご利用いただけるよう、努力していきます。ご乗車おまちしております~~~~~

令和3年度利用者登録について

「さぎそう河内号」のご利用には、毎年更新登録が必要です。令和3年4月からは新しい登録証でないとご利用いただけませんので、本年12月以降自治会の回覧で詳しくお知らせします。ご確認いただき、登録申請をよろしくお願いたします。

目的施設の新規追加について

- 以下の施設が追加されました、ご利用下さい!!
- ・カインズ宇都宮平出店 (TEL028-613-1000)
 - ・さくら鍼灸院接骨院 (TEL028-671-1300)



地域トピックス

かわち笑顔プロジェクト 医療機関に黄ぶなのモバイル贈呈

河内地区内3中学校と県立岡本特別支援学校の生徒が折ってくれた黄ぶな 2300 個が集まりました。折り紙の中には「ありがとうございます」「頑張ってください」「コロナが収束しますように祈っています」などのメッセージが書かれたものもありました。

皆さんに代わって、サキちゃんソウくんが河内地区の病院や福祉施設等に感謝の気持ちを添えて届けてきました。可愛いですねと笑顔で受け取ってくださいました。



パンダの
回収BOX

ご協力ありがとうございました

河内地区社会福祉協議会では、7月から「マスクのご寄付をお願いします。」回収ボックスを設置させて頂いておりますが、お陰様で8月末現在おおよそ約700枚のご寄付を頂きました。

当初、各福祉施設へお届けする予定でしたが、手作りマスクがあまりにも可愛らしいので地区小中学校合わせ9校の保健室へお届けいたしました。必要とする児童生徒の皆さんに使ってもらいたいと思います。地域の皆様の温かいご好意に心より感謝申し上げます。

「新しい生活様式」で 二事業コラボレーション開催

今年の、いきいき河内発見講座は河内の産業を学ぶ講座でしたが、新型コロナウイルス感染防止対策の為、多くのイベントを中止することとなりました。

その後 知恵を出し合い、河内の花「サギソウ」の展示と朝市（情報紙4月号掲載）の二つの事業とコラボレーションして次の通り開催しました。

いきいき河内発見講座の内容をサキソウ鉢植え講習会に変更して6月27日・7月10日に開催、講習会参加者や愛好会の皆様方の鉢植えサギソウを7月27日～8月1日まで河内地区市民センター玄関西側で展示して河内の花「サギソウ」の普及・啓発活動を行いました。



サギソウ鉢植え講習会

グリーンレンジャーが大活躍



古里中学校では2015年から毎年地域協議会がゴーヤを植えて3年生の教室に緑のカーテンを作ってきましたが、今年はコロナ禍で中学生のボランティア活動の機会が奪われる一方でゴーヤの水遣りや除草などを行うグリーンレンジャーに多くの生徒が参加し、例年以上の素晴らしいグリーンカーテンが出来あがりました。グリーンカーテンのある教室と無い教室では3度近くの温度差があったと言う副校長先生の測定結果もあり、コロナの影響で短い夏休みでしたが残暑厳しいなかでの学校生活に大いに緑が実力を発揮してくれました。

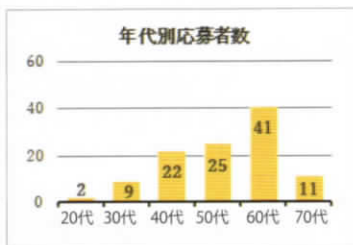
宇都宮初! **河内生涯学習センター**
「オンライン講座」の報告

河内生涯学習センターでは、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、従来の対面式の講座を中止しましたが、地域の皆さまから「学ぶ機会を作ってほしい」との声を多くいただき、この度動画配信サービスを活用したオンライン講座を開催しました。

宇都宮市初の試みに加え、素人集団(センター職員)が作るオンライン講座であることから、応募がどの程度あるか心配でしたが、新聞にも取り上げられたこともあり、お陰さまで定員の100名を上回る110名(令和2年9月1日現在)もの応募がありました。多くのお申込みをいただきありがとうございました。

応募状況ですが、動画配信サービスを活用した生涯学習講座であることから、30代~40代の受講が多いものと想定していましたが、その年代は、全体の28%に留まっており、一方60歳以上が47%と多くの割合を占めていました。

今回の応募状況からわかるように、世代にかかわらず、インターネット等の情報技術の活用が暮らしに浸透していることから、今後は、受講生同士のコミュニケーションが図れる従来の対面式と場所や時間を気にせず、気軽に楽しめるオンライン形式の両者の強みを活かし、様々な形の生涯学習講座をお届けしたいと思います。



“コロナ禍”夏の夜の演奏会in河内図書館
「琵琶できく ふるさとの物語」

8月24日(月)午後6時から、薩摩琵琶奏者の森山遊英(もりやま・ゆうえい)さんをお招きし、演奏会を開催しました。

8月は月曜日の休館日がないことから、近年では恒例となったイベントです。

今年はコロナ禍での開催となりましたが、定員数を上回る方にご来場いただくことができました。

河内地区にまつわるお話として「稚児が坂」や東下ヶ橋の「天祭」をはじめ、「宇都宮釣り天井」などを披露していただきました。

ゆかりの地の歴史に触れることにより、お聞きいただいた皆さんには、その背景をより考えるきっかけとなる公演だった



のではないかと思います。

また、感染症拡大防止対策についてもご協力いただきありがとうございました。

サークル紹介 KCB 河内 バドミントンクラブ

KCB 河内バドミントンクラブは創部 1970 年と県内では歴史が長く河内体育館を中心に活動しているレジェンドクラブです。過去にはクラブ出身者で全国中学選手権、全国高校選手権、大学一部、国民体育大会出場者もいます。練習日が週 4 日で、部員の年齢層も中学生から還暦を迎えた方まで幅広く、栃木県内県外各所、外国の方も多数参加していただきみんながフレンドリーで、世代、国境の垣根を越え初級者から上級者までレベル分けをせずみんなでワイワイガヤガヤと楽しくもあり面白いクラブです。また高根沢体育協会バドミントン部、宇都宮市内のバドミントン専門店と提携し日曜日の練習や定期的な大会、飲み会などのイベントを開催しています。国外にも提携クラブがあり中国の広州バドミントンクラブとお付き合いさせていただいております。クラブでの練習で利用済みシャトルをジュニアクラブへ寄付しジュニア育成にもお手伝いさせていただいております。近年のオリンピック、国際大会で日本代表の活躍などもありメディアで取り上げられ

る機会も増えこれから益々人気が出るスポーツだと思います。大会で結果を出したい、運動不足を解消したい、友達の輪を広げたい、そんな場をご提供出来ればと思っています。また諸先輩が築いてきたクラブをより良く発展させていきたいと思っていますし、栃木県や宇都宮市のバドミントン発展に寄与出来ればと思っています。ご興味が沸きましたらお気軽にお問い合わせご質問をお待ちしております。詳細はクラブ HP を閲覧お願いいたします。



<https://kbckawatibadminton.jimdofree.com/>

お知らせコーナー

何かと便利な

マイナンバーカードはもうお持ちですか？

★マイナンバーカードとは

マイナンバーカードはマイナンバー(個人番号)が記載された顔写真付のカードです。プラスチック製のICチップ付きカードで券面に氏名、住所、生年月日、性別、マイナンバー(個人番号)と本人の顔写真等が表示されます。

便利ポイント1

顔写真付きの公的な身分証明書として使用できます

便利ポイント2

全国のコンビニ等で住民票などが取得できます

利用時間：午前6時30分から午後11時まで
※窓口での交付手数料より100円安く取得できてお得です。

便利ポイント3

確定申告などの各種行政手続きのオンライン申請が利用できます

◆マイナンバー制度に関するお問い合わせ

☎0120-95-0178

◆マイナンバーカードの申請

スマートフォンでの申請が便利です。河内地区市民センターでは、スマートフォンを使っての申請手順をご用意しています。ぜひご利用ください。

図書館前のハンギングバスケット

最近図書館前に素敵なハンギングバスケットが飾ってあるのを見ましたか？宇都宮市緑化ボランティア講習15期生からはじまった「河内いちご会」の皆さんの作品です。2年位前から、秋はパンジーが出回る10月末頃から春は百日草やブルーサルビアなど夏の花苗で5月6月頃から、だいたい2ヵ月くらいずつ飾って水遣りや図書館回りの植栽のお手入れを総勢21名で行っているそうです。



ハンギングバスケットは白楊高校から購入した花苗を使って独りひとり思いおまいの組み合わせで作っているとのこと。



飾り方やお手入れも皆さん回を重ねるごとに腕を上げて、この夏は多くの方が目を止めて、誰が作ったの？との声が聞こえてきました。

10月からは秋のバスケットが並んでいます。

河内図書館

可愛いわが子の撮影会【おひるねアートde年賀状】

日時：令和2年11月8日(日)

- ・1部：10時00分~10時30分
- ・2部：10時30分~11時00分
- ・3部：11時00分~11時30分
- ・4部：11時30分~12時00分



会場：河内図書館 集会室

講師：(社)日本おひるねアート協会認定講師
かめだみさとさん

内容：おひるねアート撮影会 定員：各回先着3組

対象：2歳以下のお子様

その他：撮影用のスマートフォンやカメラは各自ご用意ください。

撮影はご自身でお願いいたします。

申込：10月23日(金)午前9時30分から参加希望の部回をご指定のうえ直接または電話で河内図書館へ

問合せ：宇都宮市立河内図書館

TEL：028-673-6782 FAX：028-673-6783

- *感染症拡大防止のため、マスク着用にご協力ください
- *情勢等により、開催を延期または中止する場合があります



「笑顔であいさつ運動」が始まります！

11月1日スタート!
かわち

毎月1日は
あいさつの日



おはよう!

こんにちは!

こんばんは!



いつもあいさつが飛び交う明るい元気なまちを目指し、みんなであいさつを交わしましょう！

河内地区社会福祉協議会では河内地区福祉のまちづくり計画策定委員会を立ち上げ、「福祉のまちづくり計画」を策定しました。その取り組みの第1弾として、毎月1日を「かわち あいさつの日」とし、「笑顔であいさつ運動」を実施することといたしました。

ご家族、ご近所、学校、職場、散歩や買い物をしながらなど、まずは身近なところから、元気にあいさつをしましょう！

実施・推進：河内地区福祉のまちづくり計画推進委員会

私の地域自慢

岡本台ハイツ自治会の紹介

今年度の自治会は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として自治会活動は自粛していますが新しい生活様式を取り入れて最低限の活動を実施しています。

令和元年から年一回の広報紙とは別に自治会活動の見える化の活動として、「ここにこ新聞」月1回程発行しました。さらに、自治会活動・会計の透明性を図るために役員会の傍聴と会計帳簿の閲覧を開始しました。持続可能な自治会活動を進めるためには開かれた自治会づくり推進し、女性の参画をお願いして男性と共に自治会活動に興味関心を持ってもらう活動がとても重要です。

公民館活動は活発で、「ここにこクラブ」は体操・脳トレ、「いきいきサロン」は体操・輪投げ・卓球・健康マージャン・手芸・将棋など、「わいわいサロン」は気功・カラオケなどをするサロンを開設し、「高齢者等地域活動支援ポイント事業」に参加しております。

「美しい環境づくり」として東西公園の愛護会を立ち上げ、花いっぱい公園づくりを目指し活動しましたが、高齢化で参加人数も減少してきています。

少子高齢化に対応するための活動として、出産祝い金や新1年生に図書カードをプレゼントしたり、福祉協力員による「ひとり暮らし高齢者の見守り訪問」を毎月実施しております。

令和元年から年一回の広報紙とは別に自治会活動の見える化の活動として、「ここにこ新聞」月1回程発行しました。さらに、自治会活動・会計の透明性を図るために役員会の傍聴と会計帳簿の閲覧を開始しました。持続可能な自治会活動を進めるためには開かれた自治会づくり推進し、女性の参画をお願いして男性と共に自治会活動に興味関心を持ってもらう活動がとても重要です。

当自治会は、JR岡本駅から北東約1kmにある約500世帯の団地です。昭和52年発足して活動は活発で自治会加入率は100%でした。現在は、2部屋から12部屋のアパート12棟も含めると約90%加入率となっています。

自治会独自で運動会や盆踊りする時代もあり、これまでは様々なイベントなどを開催してきております。ポウリング大会・映画会・料理教室・バス旅行・お茶会・パソコン教室・電車でハイキング&ウォーキングなど会員のニーズに合わせて実施してきました。恒例の夏祭り「ふれあい広場」は、毎年約300名参加で子ども会・ゆうゆうクラブ(おおいちよう)と共に次世代を担う子どもたちの思い出づくりとしてスイカ割りや楽しいゲームや模擬店・空くじなしの抽選会をするなど賑わいある三世代交流のイベント開催しております。



好きですかわち 株式会社 協立製作所

“桜景観が最高のウォーキングコース満喫！”

■住みやすいまち・かわち

西に日光連山、東は鬼怒川清流、そして綺麗に整備された鬼怒川桜堤堰堤はウォーキングコースとして利用。最高の環境です。

■まもなく創業40年を迎えます

白沢工業団地(白沢町)に本社工場があり、自動制御盤の製造が主で、生産ラインの電気制御部分を受け持っています。国内工場は勿論ですが海外では中国をはじめタイ、ベトナム、韓国などに日本から進出している現地工場のお手伝いにも出かけます。

各種制御のハード・ソフトプログラムが仕事で20~30年以上の実務経験を積んだ電気制御系技術者集団です。一品種毎の受注生産で海外にも出荷する為国際規格であるISO9001/14001や全国でも68社しか取得していない日本配電制御システム工業会(会員数約360社)の優良工場に18年前から認定されています。



■再生可能エネルギーを有効活用

地球規模で心配されている二酸化炭素(CO2)削減の為当社は6年前から太陽光発電事業にも取り組んでいます。岐阜県の高山発電所が第1号で茨城県内や栃木県内に22ヶ所(約15メガ)の太陽光発電所を所有しエネルギーの有効活用寄与しており、その売電で安定経営にも貢献。

■栃木の世界に誇る文化遺産を保護賛同

日光東照宮が造営された約400年前に家康公の家臣であった松平正綱・正信親子2代により20年間かけて植えられた「日光杉並木」。栃木県では自然環境保護と樹勢回復を目的に創設「日光杉並木オーナー制度」(1本1000万円)を弊社創業者夫妻が2本、保護賛同させていただきました。

(代表取締役 大谷津敏之)

田原中学校 天文台公開日のお知らせ

《11月・12月・1月の公開日》

11月	7日(土)	21日(土)
12月	5日(土)	19日(土)
1月	9日(土)	23日(土)

- ・時間 19:00~21:00
 - ・会場 田原中学校天文台(特別教室4F)
 - ・その他 費用は無料
- ◎上履きをご持参ください。

※申し込みは下記ページから「完全予約制」です。

<http://scopepeople.jp/0001009/>

右のQRコードからページにジャンプできます→



お問い合わせは

河内星の子会 ☒ hoshinokai@gmail.com

行政相談

- ◆相談日 11月12日(木)
12月10日(木)
1月14日(木)
- ◆場所 河内地区市民センター
1階相談室又は2階学習室
- ◆時間 午前10時~正午まで
- ◆相談員 渋井トミ子
- ☎(673)2132

河内物語

☆宇都宮市河内地区の誕生(その5)合併破たんから再歩み

平成17年(2005)1月29日 市町村合併住民説明会(6回開催) 説明趣旨は、合併破たんにより、河内町の合併に係る経過の説明と意見を拝聴した。

・説明資料には、平成13年12月15日合併について河内町が検討した「合併問題検討委員会・同研究会」設置要綱制定内容とその後2回の住民アンケートや合併座談会の結果報告、平成16年2月4日1市(宇都宮)3町(河内・上河内・上三川)で構成する「宇都宮地域合併協議会」設立、その後の上三川町の離脱意向に伴い平成16年12月10日開催した定例会で1市2町で構成する「宇都宮地域合併協議会」の規約変更の議案での否決に伴う、平成16年12月27日臨時会において1市3町で構成する「宇都宮地域合併協議会」を廃止にする議案の全会一致可決までの経過(前号までに記載)と税・消防団・自治会・証明手数料・国保と生活環境・福祉と保健・産業と農業委員会・上下水と集落排水・建設・教育の10項目及び財政計画についてまとめた「合併前と合併後の住民負担とサービスの比較表」の内容でした。

平成17年(2005)2月21日 平成17年度当初予算を発表
 ・市町合併の破綻に伴い、単独で行政運営が迫られるため、平成17年度は現在の町総合計画(平成8年~平成17年)の最終年度となるので、新たに町総合計画を策定し、継続事業の見直しをする。その一環として、町の一大事業である総合運動公園整備事業は事実上計画を一時ストップ。その概要は陸上競技場や屋内プール整備に7億円を投資、計画ではさらに多目的広場などに約13億9700万円が掛かる見込みでしたが、今回策定する町総合計画(2006年~2015年)と整合性を図りながら、凍結を含めて事業の進め方を検討することになるなどの平成17年度当初予算を発表した。

平成17年(2005)3月2日 河内町臨時会
 ・宇都宮市との合併が、町単独で町政を行うか二者選択で有権者に問う住民投票条例(案)の採決を行い、「賛成17・反対1」で可決した。県内で住民投票による合併の是非を問う住民投票は、日光市に次ぎ二例目でした。

・当時の玉生町長は、住民投票の日程を4月12日告示、同17日投票日と決める。
 ・住民投票条例が一転して大差で可決となった背景には、住民団体が合併を目指して収集した署名数の「重み」が影響したとみられる。「民意の反映」を訴える住民団体「町の将来を考へる会」は、約一週間で有権者の約6分の1の署名を収集した。

市町村合併の協議結果説明会資料

- 市町村合併の協議結果の概要
- 平成13年度からの取り組みから現在に至るまでの概要
- 住民負担とサービスの比較表

1市3町が合併した場合の、住民負担とサービスの変化

1市3町(宇都宮市・上三川町・上河内町・河内町)が合併したことを前提に協議調整を行った途中経過を平成16年8月現在で取りまとめたものです。

※財政計画

- 合併後の新市の財政計画
- 単独の場合の財政計画

(投資的経費を10億円と設定、投資的経費を7億円と設定)

この単独の場合の財政計画は、平成16年9月現在で作成したものです。

大塚自治会 増淵 昭

ほくの夢・わたしの夢

岡本北小学校5年 松岡 美波

私の夢は、パン屋さんになることです。パン屋さんを開いて、お客さんに、自分が作ったパンを食べて笑顔になってもらいたいです。私の趣味は、パン屋さん巡りです。お休みの日は、お母さんとパン屋さんによく行きます。そのパン屋さんの店員さんが笑顔で接客しているのを見て、私も笑顔になりました。だから、私もそんな、みんなを笑顔にできるパン屋さんになりたいと思いました。



岡本西小学校6年 天海 花

私の将来の夢は、小学校の先生です。なぜなら、私は勉強をすることが好きだからです。学校の宿題だけではなく、自主学習にも積極的に取り組んでいます。また、勉強を教えることも好きだからです。私が小学校の先生になったら、勉強を教えるだけではなく、みんなでやりとげたときの達成感や友達の大切さなども教えます。そして、いつでも優しく明るい先生になりたいです。



田原西小学校4年 渡辺 蒼太

ほくの将来の夢は、車のせいさく者です。お父さんが車にかかわる仕事をしているので、ほくも車にかかわる仕事がしたくなりました。カッコいい車を見て、なぜこんなにカッコよくできたんだろうと思ひ、もっとカッコいい車をつくりたいと思いました。それに自分が作った車が売れて、ほくも自分でつくった車に乗ってみたいです。そのために、図書館で車の本を借りて、車の勉強をがんばってみたいです。



地域の皆様からの応募をお待ちしています。

- あなたの身近な地域の情報や話題
- 河内地区を撮影した風景写真、地域のお祭り、イベントの写真

【問合せ】
 〒329-1105 宇都宮市中岡本町3221-4
 河内地区まちづくり協議会
 (河内地区市民センター内)
 ☎ (671)3202 FAX (671) 3220
 Eメール先に送信して下さい

河内地域の人口

人口 35,229人
 男 17,607人
 女 17,622人
 世帯数 14,802世帯
 (住民基本台帳による)
 令和2年9月末日現在

ホームページが新しくなりました

河内地区まちづくり協議会事務局
 (河内地区市民センター内)
 090-3229-3202
 (不通時 028-671-3202)

河内地区まちづくり協議会のホームページ
<https://www.kawachichiku.com>

QRコード⇒